

タイトル	音楽の力と認知機能 ～重度認知症があっても音楽はできる！
内容	<p>60 歳以上の世界人口の割合は急速に増加しており、日本ではすでに 30%を超え、2016 年以降、認知症が介護を必要とする最も多い理由となっています。また、通常に加齢でも、認知機能に関する神経基盤に変化が起こり、特に前頭前野領域に影響を及ぼします。したがって、認知機能の維持改善は、加齢を成功させるために非常に重要です。しかし、認知症があると新しいプログラムに参加することが難しくなります。音楽、特にリズムがあると、認知症や身体虚弱があっても誰でも参加ができ、且つ認知機能を維持・向上させるプログラムになります。高齢者の認知機能のレベルに合わせた認知機能改善プログラムについてお話しします。</p>
講師名	宮崎 敦子
プロフィール	<p>医学博士。東京大学先端研身体情報学分野特任研究員。東北大学大学院医学系研究科脳機能開発研究分野博士課程修了。脳と音楽の関係、ドラムを用いた認知症予防・改善プログラム開発などの研究をしている。Dr.DJ ATSUKO 名義で長年 DJ 活動をしている。今年、ダンス・ボーカルユニット TRF と共同開発した高齢者向けのダンス効果を 60 歳以上の健常高齢者で検証した結果、認知機能改善に有効であることを報告した。</p>